



特定非営利活動法人

豊島区体育協会報

題字 豊島区長 高野之夫

平成26年（2014年）

No.37

1月10日

発行：NPO法人豊島区体育協会

編集：豊島区体育協会広報部

〒171-0043 豊島区要町3-47-8

豊島区立豊島体育館内

Tel.3955-4858(直通) Fax3955-0528



謹賀新年

豊島区長 高野 之夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご健勝のうちに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、豊島区民にとってスポーツに沸いた年になりました。

まず、南長崎スポーツセンターが開設しました。月平均2万人以上の方々が利用されており、今や豊島区の一大大スポーツ拠点となっています。

また、昭和34年の第14回大会以来54年ぶり3回目の開催となった東京国体では、ビリヤード、ユニバーサルホッケー、キンボールと3競技がデモンストレーション事業として豊島区で開催され、都内から総勢約700名の選手が本区で熱い戦いを繰り広げました。

更には、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。

豊島区の施設は競技会場として予定されてはいませんが、開催地東京には選手や役員等関係者、観光客など25万人もの方々が来日されるという試算もあり、WHO認証のセーフコミュニティ都市を、また、トキワ荘や並木ハウスなどの新旧マンガ・アニメ文化を、更には区の木でもあり、日本人の心のシンボルでもあるソメイヨシノ発祥の地を、世界に発信する絶好の機会でもあります。

そのためにも、世界のスポーツの祭典である2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催を起爆剤として、「街が変わる 街を変える」を合言葉に、皆様とともに、未来の豊島区を築いていけるよう努めてまいります。

貴体育協会におかれましては、また、今年は、平成17年に非営利活動特定法人の認証を受けられて10年目となります。スポーツ少年団創立30周年記念式典や秩父市友好親善スポーツ大会30周年事業など、これまで取り組んでこられた数々のスポーツ振興への取り組みの成果が更に大きくなるよう、その力量を更に発揮されることを期待しております。

最後になりますが、今後もスポーツ・レクリエーションを通じ、明るく活力ある地域を築いていけるよう、豊島区体育協会の皆様の一層のご活躍とご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくようお願い申し上げます。



萬歳!!東京五輪決定

豊島区体育協会会長 副島 健

新年明けましておめでとうございます。

皆さまお健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げますと共に、年頭に当たり平素当体育協会をお支えいただいている皆さまのご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。

昨年9月8日、地球の裏側ブエノスアイレスのIOC総会で私達日本人が待ちに待った2020年開催のオリンピック・パラリンピック東京招致決定のニュースは、全国で大きな喜びで沸き上がりました。特にこれまで何らかの形で招致運動に関わって来られた皆さまには、関係者の一人として厚くお礼申し上げます。同日私は、皆さまご承知の豊島区と永年姉妹都市交流が続いている秩父市との『スポーツ交流親善大会開会式』に出席のため役員・選手の方々と同市を訪れました。

開会式冒頭のご挨拶で、久喜邦康秩父市長様が『豊島区民の皆さん、オリンピック・パラリンピック東京招致決定おめでとうございます』と区体育関係者にとって最も早いお祝いのお言葉と、心温まる『万歳三唱』のご発声をいただき感激と同時に体育協会にとりましては、永く記憶に残るうれしい出来事でありました。

施設について申し上げます。昨年豊島区のご努力で南長崎スポーツ公園が完成し関係する利用者大変喜ばれております。今年は、永年区に要望してきた、①旧第十中学校跡地の多目的屋外スポーツ施設の建設、②総合体育場管理棟の改築等々更に充実していただくよう区ご当局に働きかけて参る所存でありますのでお力をお寄せください。

最後にこの会報37号作成にご参画願った皆さまに感謝しつつ挨拶といたします。



就任のごあいさつ

事務局長 佐伯 貞夫

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、私が特定非営利活動法人 豊島区体育協会に就職してから3年になろうとしています。

長い間、豊島区役所で働いていたにも関わらず、体育行政や体育協会関係の仕事を全く経験していなかったため、期待に応えることができるかどうか不安でした。

しかし、体育協会に加盟している各団体の皆さんの温かい励ましによって、何とか今日まで無事に過ごさせて頂きました。心から御礼申し上げます。

さて、私にとってこの間の最大の出来事は、何と言っても2020年のオリンピック・パラリンピックが東京都で開催されることに決まったことです。

何故でしょうか。それは1964年の東京オリンピックの開催で、マラソンのアベベ選手、日本女子バレーボール選手の大活躍などで大きな感銘を受けました。そして、今また56年ぶりにそのような感動を味わえるかと思うと、心の奥深いところから喜びが込み上げてくるからなのです。こんな人間ですが、どうぞよろしく願いいたします。

新年賀詞交歓会

平成25年1月11日に勤労福祉会館において新年賀詞交歓会が開催されました。篠副会長・専務理事の開会挨拶に続き、副島会長の賀詞が詠まれ、新年度に向けて、豊島区体育協会がスポーツ愛好者や地域住民の活躍できる環境づくりに益々励む所信が表明されました。

高野区長をはじめ来賓の方々からもご祝辞をいただき、平成25年度を迎えるに当たり決意を新たに第1部が終了しました。

第2部においては、お楽しみゲームや和やかな歓談の中、服部常務理事のお礼の言葉で幕を閉じました。



平成25年度 定期総会



平成25年度定期総会が5月24日(金)午後6時30分から区立勤労福祉会館6階大会議室で開催されました。

篠徹一副会長兼専務理事の司会進行により議長に副島健会長が選出され議事に入り、事業報告、決算報告、監査報告、事業計画、予算案に続いて役員改選について提案審議され承認されました。

続いて小林幸栄副会長・木津美佳常務理事の司会進行により懇親・懇談会に入り吉末昌弘文化商工部長の乾杯に始まり、和やかに懇親・懇談が行われ、無事定期総会が終了致しました。

新役員は次の通りです。

会 長	副島 健
副 会 長	篠 徹一 (専務理事兼任)
〃	前川 昌範
〃	月岡 透
〃	小林 幸栄
常務理事	土尾 英夫
〃	服部 浩久
〃	橋本 道子
〃	木津 美佳
〃	大木 一也
〃	園田 玉紀

新理事紹介



須藤 拓也

(豊島区馬術連盟 理事)

**2020年第32回夏季オリンピック
第16回パラリンピック
東京開催決定！
Discover Tommorrow**

熱心な招致活動の成果が実を結び、2020年東京開催が決定しました。

敗戦から急速な復活を遂げ、国際社会への復帰のシンボルとなった1964年第18回東京オリンピック。聖火が初めてアジアに上陸し、聖火台に平和の灯がともされました。

二度目の開催となる2020年大会は「未来をつかもう」のテーマのもとに、日本の持つ伝統文化、おもてなしの心、科学技術など世界にアピールできるスポーツの祭典となることでしょう。

スポーツに真摯に臨む姿は、未来を担う子どもたちに夢と勇気を与え、一人ひとりに生きる希望を与えてくれます。世界のアスリートが東京で競い合う2020年の夏の到来を心待ちにしています。



**スポーツ祭東京 2013(第68回国体)
豊島区でデモスト行事を3種目開催**

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会が東京都内各地で行われた中で、豊島区ではデモンストレーションとして平成25年9月22日(日)に“ビリヤード”をビリヤード・ロサで、9月29日(日)に“ユニバーサルホッケー”を豊島体育館で、10月6日(日)に“キンボールスポーツ”を豊島体育館で開催しました。

キンボールスポーツ競技は名誉会長高野之夫豊島区長、大会会長百瀬修至東京都キンボールスポーツ連盟会長のもと、競技委員長として寺門孝史豊島区キンボールスポーツ連盟理事長以下同役員総出で大会運営に当たりました。

大会には東京都内より52チーム約300名が参加して行われ、フレンドリーA組において豊島区の「ファイティング豊島」チームが見事優勝しました。



★都民大会開会式★

平成25年5月12日(日) 東京体育館において、第66回都民体育大会および第14回東京都障害者スポーツ大会の合同開会式が開催されました。

東京23区26市の役員・選手が一堂に会し、東京消防庁プラスバンドのオリンピックマーチの演奏に合わせて入場行進を行いました。豊島区からは50名を超える役員・選手が参加しました。

席上平成25年度東京都体育協会生涯スポーツ功労賞に、団体ではテニス連盟、個人ではスキー協会理事の杉山鈴谷さんが表彰されました。



〜〜都民体育大会 結団式〜〜

第66回都民体育大会豊島区代表選手団の結団式・激励会が、平成25年4月26日(金)18時30分より勤労福祉会館において、高野之夫区長始め165名の出席のもとで開催されました。

高野区長より副島健団長へ「団旗」が授与され、選手代表軟式野球連盟奈須徹選手の闘志あふれる宣誓で第一部が終了しました。

第二部の激励会では、各競技団体の選手の紹介・決意表明が行われ、閉会となりました。



解 団 式

解団式は平成25年6月28日(金)に勤労福祉会館において開催されました。

岡田英男学習・スポーツ課長より成績発表があり、総合成績では53地区中豊島区は男子15位(前回17位)、女子21位(前回19位)でした。続いて「団旗」の返還があり第一部が終了しました。

第二部の慰労会では、各競技の選手団より結果報告があり、来年の健闘を誓って閉会となりました。

入賞団体

- | | |
|---------------|-----------------|
| 正式競技 | 公開競技 |
| 2位 アーチェリー(男子) | 3位 フェンシング(女子) |
| 2位 空手道(男子) | 6位 ローラースケート(男子) |
| 5位 スキー(男子) | |
| 7位 スキー(女子) | |
| 7位 ボウリング(女子) | 移行競技 |
| ベスト8 軟式野球(男子) | 2位 空手道(女子) |
| ベスト8 柔道(男子) | |
| ベスト8 卓球(女子) | |

★秋季区民大会総合開会式★

平成 25 年 9 月 4 日(水)豊島公会堂において、第 66 回豊島区民体育大会の総合開会式が高野区長をはじめ約 900 名の参加者のもと、盛大に開催されました。高野区長の挨拶に続き、豊島区スポーツ奨励賞、同スポーツ荣誉賞の表彰、区長杯返還、副島体協会長の挨拶、来賓祝辞、アーチェリー協会加来剛選手による選手宣誓のあと、24 名の体協生涯スポーツ功労者表彰、そして受賞者を代表してソフトテニス連盟里見義仁氏の代表謝辞がありました。

受賞者および団体は以下の通りです。



<スポーツ奨励賞>

- 荻野 祐輝 全国障害者スポーツ大会
立幅跳、800m 出場
- 市川 典子 全日本シニアバドミントン大会 5位
- 木下 澄子 全日本シニアバドミントン大会 5位
- 小林 彩乃 全国高校剣道大会 出場
- 荻原 菜摘 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 出場
- 山田 明美 東日本ソフトテニス大会 優勝
- 淑徳巣鴨高等学校バドミントン部 東京都高校総体 優勝
- 十文字中学校サッカー部 全日本女子コース(15歳以下)サッカー大会 出場
- 十文字高等学校サッカー部 全日本高校女子サッカー大会 出場

<スポーツ荣誉賞>

- 幸田 和記 全国高校総体 陸上 砲丸投 3位
- 初瀬 勇輔 全日本視覚障害者柔道大会 81kg級 優勝
- 砂塚 希美 全日本少年少女武道なぎなた錬成大会 小4の部 3位
- 古川 和代 エンジョイなぎなた全国大会 初・二段の部 優勝
- 長谷川雄太 フィンスイミングアジア選手権 4位
フィンスイミング日本選手権 優勝
- 淑徳巣鴨高等学校水泳部 全国高校総体 水泳 女子400mメドレーリレー 2位
- 岸野 徳子 全日本バウンドテニス大会 ミドル女子シングルス 優勝
- 中村 健人 国体 フィギュアスケート 2位
- 上田 春佳 国体(水泳)
成年女子 100m 自由形 優勝
成年女子 200m リレー 優勝
成年女子 400m メドレーリレー 3位
世界水泳大会 出場
- 加藤 ゆか 団体(水泳)
成年女子 100m バタフライ 2位
成年女子 200m リレー 優勝
成年女子 400m メドレーリレー 3位
- 立石 諒 団体(水泳)
成年男子 100m 平泳 2位
成年男子 400m メドレーリレー 優勝
世界水泳大会 出場

<生涯スポーツ功労賞>

平岡鉄夫・夏井洋二(軟式野球)、里見義仁(ソフトテニス)、小浦静江・瀬尾政子・伊東陽子(バレーボール)、佐々木和行(柔道)、鈴木國夫(剣道)、伊藤俊之(スキー協会)、平山義文(ソフトボール)、東瑠美子(バドミントン)、三平幸夫(陸上)、横田喜廣(バスケット)、桑島章(サッカー)、菊地恵子・小林薫・田中達也(テニス)、鈴木玲子(なぎなた)、増山健二(少年野球)、千葉昭男(空手道)、山浦俊之(レスリング)、原口紘治(ゲートボール)、伊丹武次(ボウリング)、石橋隆司(合気道)

表彰されました

豊島区長功労者表彰



○岡崎 紘二
豊島区レスリング協会会長



○小池 武次
豊島区クレ射撃連盟会長



○齋藤 春子
豊島区なぎなた連盟会長
体協顧問



○福田孝三
豊島区ダンススポーツ協会会長

東京都スポーツ功労賞

(個人)
服部 浩久
豊島区軟式野球連盟理事長
体協常務理事

(団体)
豊島区スキー協会(会長 河内秀人)

東京都功労者表彰(スポーツ振興功労)



山縣 てる子
体協前事務局長

平成26年度

要 望 書

特定非営利活動法人 豊島区体育協会

平成26年度 要望事項

1. ジュニア・シニアスポーツ、障害者スポーツ等に関する要望

今までジュニア・シニア事業に区が予算や施策面に対しまして多大なご支援・ご協力をして頂き深く感謝いたしております。おかげさまで豊島区体育協会の事業として大変充実してきております。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が正式決定され、今後ますます青少年のスポーツ参加の増加、競技能力の向上のための施策充実が求められてきます。また、パラリンピック開催に向け、障害者スポーツのためにも同様の施策展開が必要となります。

7年後のオリンピック開催を控え、またその後のスポーツの振興も視野にいたしたスポーツ教室、スポーツ競技を展開していくために、今後とも予算や施策面における更なるご支援をお願いいたします。

更に高齢社会が急速に進展しておりますが、いつまでもスポーツを楽しみながら心と体の健康を維持できるように、生涯スポーツ振興のためシニアスポーツへのより一層のご支援をお願いいたします。

2. 体育協会の運営に関する要望

現在、豊島区体育協会は区のご支援により組織体制を強化し、職員3名体制の下に、順調に事務事業の処理を行っています。今後、当協会として更に積極的に事務事業を進めていくためにも、職員の処遇向上やホームページの質向上等事務事業充実のために資金的支援をお願いいたします。また、各施設に設置されている自動販売機については、近年、豊島区で一括して入札を行っており、今後、当体育協会で管理させて頂いています自動販売機についても同様な取扱いになることが予想されますので、こうした点にもご配慮頂き必要な予算措置をして頂きたいと思っております。

3. 施設に関する要望

本年度、長年の懸案であった南長崎スポーツセンターが完成し、区民のスポーツ参加の機会が大幅に増加し、体育協会といたしまして心から感謝しております。区立体育施設につきましては次の要望をいたします。

(1) 第十中学校跡地の活用に関する要望

旧第十中学校跡地の活用については多目的屋外スポーツ競技場としてのサッカー、ラグビー、少年野球などに対応できる施設の整備をお願いいたします。

(2) その他施設に対する要望

現在、豊島体育館等区立施設で加盟各団体は競技能力の向上をめざした練習、また区民体育大会等の公式大会を実施いたしております。

こうした施設を安心して、かつまた安全に利用できるよう下記の点についてご配慮をお願いいたします。

① 当協会が体育施設を利用する際の使用料について、軽減等検討されますようお願いいたします。

② 施設以外にも設備や用具など老朽化が目立つようになりました。大会の開催日等に事故発生することが危惧されます。区民が安全・快適に競技できるよう改修や設備の更新への対応をして頂きたいと思っております。

4. 体育協会育成団体の要望

(1) スポーツ少年団

当協会として地域スポーツ振興の柱となっているスポーツ少年団は、青少年健全育成、地域コミュニティづくりに大きな力になるものと考えております。オリンピック開催の夢を持った少年たちに、事業実施のための会場を確保することは喫緊の課題であり、ご支援をお願いいたします。

(2) 椎の美スポーツクラブ

行事の拠点として計画的に使用できる会場の確保として、

① 旧千川小学校体育館の優先利用

② 旧西部区民事務所体育館の優先利用

があります。両施設とも地域の方々が一時的に活用されてきた経緯があると思いますが、ご検討をお願いいたします。

特定非営利活動法人 豊島区体育協会

会 長 副島 健

副会長・専務理事 篠 徹一

副会長 前川 昌範

副会長 月岡 透

副会長 小林 幸栄

豊島区長

高野 之夫 様

各団体 活動報告

バレーボール連盟 バレーボールへの展望

二年前より組織編成を五部門にし、一般男・女の部、レディースの部、シニアの部、スポレクの部、ジュニアの部。チャンピオンスポーツとしては「一般男・女の部」「レディースの部」バレーボールの技術を磨き勝利を目的とし、チームはお互いに切磋琢磨しながら、豊島区だけでなく城北、東京都、全国大会に出場し優勝という目標を達成する、ひいてはオリンピックを視野に入れた活動を行う事。

又「シニアの部」、「スポレクの部」は“生涯スポーツとして”将来、高齢者が増える中、健康で楽しく生活出来る事を願って、いろいろ工夫をしてバレーボールを生涯楽しんでもらえる様につくしています。

その為には他区のシニアの人達との交流、大会も含めコミュニケーションの場として、楽しい盛り上りを期待しております。

そして「ジュニアの部」は幼児から小学生まで何とかバレーボールの楽しさを指導する事。あまり型にはまらず遊び感覚で、ボール遊びをしながら楽しさを味わわせ、如何に長続きさせられるかが一工夫必要だと思っています。

未来のオリンピック選手を育成する大切な役目だと思いながら頑張っています。

終りに今年度の区体協の生涯スポーツ功労者にバレーボール連盟の表彰者をシニアの部の中より三名推薦いたします。チームの中心となり牽引しまとめ役として三十年～四十年今も在籍し貢献しております。

常任理事 野口 保子

卓球連盟 事業活動報告

平成 25 年 4 月 12 日(金)豊島体育館に於て、定期総会を開催、24 年度事業、会計、会計監査報告及び 25 年度事業計画を全会一致で承認し、役員に今泉敬介氏を名誉会長に選出、その他の役員は留任としました。第 66 回豊島区春季体育大会卓球大会を 4 月 14 日(日)豊島体育館にて開催、男子団体 1 部に森クラブ、女子団体 1 部に拓睦会 (A) が各優勝しました。5 月 12 日(日)豊島体育館にて豊島区春季新人戦及びダブルス選手権卓球大会を開催、新人戦男子は飯塚圭一(豊島卓旺会)女子は陳夢(大熊猫)、男子複は中嶋・青山組、女子複は林・飯田組、混合複は青山・岩崎組でした。5 月 26 日(日)墨田区総合体育館にて第 66 回都民体育大会卓球競技は、男子は 1 回戦敗退、女子は 2 回戦で前年準優勝の練馬区に 3-0 で勝利、3 回戦文京区に 3-2 で勝ち、4 回戦新宿区に 2-3 の僅差で敗北、4 位入賞です。6 月 16 日(日)巣鴨体育館にて第 34 回豊島区レディース・スポ・レク大会卓球大会で単 1 部八田侑子、複 1 部三吉・八田組が各優勝しました。8 月 4 日(日)雑司ヶ谷体育館にて第 30 回豊島区秩父市交流卓球大会を開催、男・女単各 14、男・女複各 5 組、混合複 6 組で競い、22 対 22 で引き分けました。9 月 8 日(日)豊島体育館にて第 66 回豊島区民体育大会区長杯争奪卓球大会を開催し男子団体に森クラブ、女子団体にぴんぽんくらぶ、男子単に田中孝樹(東京メカニコング)女子単に月原加央里(東京メカニコング)が各優勝す。

柔道会活動報告

城北五区親善柔道大会・4 連覇を飾る



本年度の城北五区親善柔道大会が 7 月 15 日(海の日)に主催区の練馬区総合体育館で実施されました。この大会は毎年各区の柔道会が伝統ある城北五区の覇

権を争う由緒ある大会でございます。その大会において豊島区柔道会が 4 連覇を達成いたしました。ここに、区民の皆様にご報告申し上げます。

○城北五区親善柔道大会(8 人制団体戦)

準決勝 豊島区 8 対 0 荒川区
決勝戦 豊島区 6 対 2 練馬区
豊島区・優勝

最後に豊島区柔道会は柔道を通し区民の皆様の健康増進とスポーツ振興に貢献することを目的とし、今後も日々精進・邁進させていただきます。

副理事長 大木 一也

アーチェリー協会

本年、当協会は設立 60 周年を迎えました。1953 年日本アーチェリーの嚆矢として設立された当協会が今日に至りましたのも、ひとえに豊島区体育協会を始め関係各機関ご利用の皆様のご協力の賜物とこの場を借りて御礼申し上げます。

5 月に行われた都民大会では男子準優勝、女子 14 位。特に男子は久しぶりの好成績を残すことができました。

3 人 1 組のトーナメント戦を接戦に次ぐ接戦で勝ち進み、決勝の東久留米市戦では同点のため延長戦(シュートオフ)となりました。

結果は惜しくも 1 点差にて優勝を逃しましたが、久しぶりの快挙に喝采し、60 周年に大きな花を添える結果を称えました。

6 月には巣鴨体育場射場にて 60 周年記念試合を開催しました。28 名の参加者にて大盛況。通常の順位賞の他に設けられた特別賞獲得を目指して初心者からベテランまで和気藹々と楽しい 1 日を過ごすことができました。

また本年も月 2 回(主に第 2・4 日曜日)巣鴨体育場にて初級練習日を実施。小学生から大人まで多数のご来場を頂きました。

今後ともジュニア世代の育成を中心に協会の実力アップに努めてまいります。

国体開催に続き、いよいよ 6 年後東京オリンピックの開催が決定しました。共に 70 m の試合がメインです。豊島区のアーチェリー競技の発展の為に、長距離の射場が整備されることを切に望むものであります。

副理事長 富田 康紀

なぎなた連盟

豊島区なぎなた連盟にお世話になってあっと言う間に 25 年が経ちました。学生時代に始めたなぎなたですが就職してからはしばらくお稽古に伺えないためお休みするしかないとおきらめていたところ、「勤務先が豊島区ならば時間のある時にいらっしやい」斉藤先生、田中先生にお声掛けいただき、千歳橋体育館の豊島区なぎなた連盟でお稽古を続けさせていただくことが出来ました。その後、出産等で途中長くお休みさせていただく等わがままなお稽古状況でしたが、その都度先生方から「無理をしないで時間のある時に来れば良いのよ。続けることが大切。」とお言葉を掛けていただき、そのお言葉に支えられて今日まで続けることが出来ました。

娘が小学生になり、長いお休みからお稽古に復帰の際に一緒に伺ったことから、先生方や小学生のお友達に「一緒にやってみよう！」とお声掛けていただきお稽古を始め、中学生になった今では私以上になぎなたに夢中になりました。ご指導いただいている高井先生のように「いつか国体選手になりたい！」と部活動もなぎなたを選び連日なぎなた三昧な学生生活を満喫しております。

親子で豊島区なぎなた連盟にお世話になりここまでお稽古を続けて来れたのも、本当に先生方のあたたかいご指導と皆様のサポートのお蔭で、卒業の際に斉藤先生にご挨拶した時からの豊島区とのお縁を大切にさせていただきたいと思っております。

理事 鈴木 玲子

ダンススポーツ連盟

平成 25 年 7 月 1 日付で、新執行部発足の運びとなりました。それを契機に、以前から都に要請されていた団体名の変更を行う事とし、10 月 1 日に、ダンススポーツ協会改めダンススポーツ連盟となるべく名称変更届を提出しました。



活動状況としましては、春に 10 回、秋に 8 回の初心者講習会を開催し、春の受講者のメンバーは、嬉しい事に、新サークル結成に至りました。5 月には、雑司ヶ谷体育館に於て競技会を主催し、都内のみならず他県からも多数の参加者が集い、活気に満ちた 1 日となりました。9 月 15 日には、駒沢体育館での都民生涯スポーツ大会に参加し、奮闘の甲斐があり、31 団体中 11 位と、前年度より大幅な順位アップを果たし、団体優良賞を受賞しました。当日は台風接近の悪天候にも拘らず、多数の応援団が駆けつけ、熱い声援を送ってくれた功績も大きいと感謝の念に絶えません。9 月 29 日には、雑司ヶ谷体育館において、区民体育大会・区長杯争奪サークル対抗戦を行い、新人戦、一般戦と熱戦を繰り広げました。

サッカー協会

ジュニア世代に大きな夢・目標ができた!!

私たち豊島区サッカー協会で、選手登録人数・試合数が最も多いのは、元気いっぱいなジュニア委員会である。昨年度のリーグ戦だけでも、全試合数は 251 試合。500 名近い選手が参加。その他に、体育の日記念大会・学年別育成大会・親子交流大会・東武東上線沿線大会・豊島ライオンズクラブ杯・卒業記念大会・トレセン活動・秩父交流と、選手をはじめ支えて頂いているコーチ・スタッフのみなさん、保護者のみなさん、大変お疲れ様です。

さて、豊島区のジュニアの選手、また、現在、中学生・高校生として活躍している豊島区ジュニア出身のみなさんには、大きな目標ができました。東京でオリンピック・パラリンピック開催が決定しました。選手として参加し、活躍することが夢ではなくなったのです。サッカーに限らず、各競技種目においても、ジュニア世代における指導育成が、東京オリンピックを見据え、更に重要となります。豊島区から、東京から、日本から多くの金メダリストの誕生を期待しましょう。

私たち豊島区サッカー協会は、今後もジュニア委員会の活動に始まり、シニア世代まで生涯サッカー選手として輝き続ける様、総力を挙げて活動して行きます。

副会長 樋口 知克

第31回 姉妹都市スポーツ交流 相互開会式

秩父市文化体育センターにおいて、平成25年9月8日、折しもこの日は、2020年オリンピック・パラリンピック開催地の決まる日、皆ハラハラ・ドキドキ、ついに午前5時20分、あの一言“ト・キョウ〜”狂喜、昂奮、冷めやらぬ中、相互開会式が行われました。

久喜邦康秩父市長が挨拶で、まさか？の“万才三唱”皆の気持が、一つになり、感激の開会式となりました。その後バドミントン競技観戦そして、雨に洗われた、まばゆいまでに美しい木々を愛で、その景観に感歎した長瀬ライン下り。後は言うまでもなく、和気藹々、わが事務局手作りの素晴らしい“スポーツ交流30年誌”が配布され、一段と盛り上がり、とても充実した楽しい懇親会でした。

井上まり子市民部長、松本郷体育協会々長はじめ、秩父市民スポーツ課、秩父市体育協会の皆様、ありがとうございました。

常務理事 橋本 道子



第34回レディース・スポレク大会

平成25年6月2日(日) 午前10時～



豊島体育館において例年通り、立教大学吹奏楽部の晴れやかなファンファーレと共に、メインプラカードを持ったバレーボール連盟役員の近藤さんが緊張した表情で入場して来ました。続いて14団体の選手の皆さんが大きく手を振り堂々と入場行進です。区長さんを始め国会議員・区議会の多数の先生方、又体育協会協賛各社をお迎えして、さわやかな司会進行のもとに約600名が集う、第34回大会の開会式が無事に終了致しました。

ふれあいひろばのエキジビション、ゆりーとダンスは大好評、岡田美香先生のご指導で皆さんとても楽しそうに踊っていました。さあ明日から大会優勝目指して、良いプレーして頑張ろうと胸に秘めて帰路についたことでしょう。

第34回レディース・スポレク大会 報告会・反省会

平成25年8月2日(金) 勤労福祉会館 6時30分～

橋本道子スポ・レク委員長の司会進行により岡田学習・スポーツ課長、月岡体協副会長の挨拶、続いて14団体から開会式の反省点・大会報告事項等が発表され、明日に繋がる有意義な反省会でした。

2部として懇親会が用意されており、美味しいお弁当をかこみながら和気あいの雰囲気の中で懇談、それぞれの団体の情報交換が各団体に持ち帰られ、体育協会の振興発展に寄与するものと思われます。

◎賛助会員紹介◎

豊島区体育協会の目的に賛同され、平成25年度賛助会員に入会された法人及び個人の方々をご紹介します。(平成25年11月30日現在)

◇法人会員

株式会社プラント、崇鴨信用金庫、アサヒ弓具工業株式会社、株式会社アイワ微草、豊島区テニス連盟、日勝スポーツ工業株式会社、大塚食品株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、豊島区ラグビー協会、東西化学産業株式会社、豊島区バレーボール連盟、株式会社ピーウォッシュ、アーバンペンディックスネットワーク株式会社、豊島区水泳連盟、株式会社テクノ菱和、株式会社ヤマダ電機、(有)宮印刷

◇個人会員

若林秀雄、板橋政雄、前川昌範、岡崎紘二 (敬称略)

▽編集後記▽

“魅力ある広報誌作り”を目標に、広報委員会は何度かの編集会で議論を重ね、発行に向けて取り組んでまいりました。紙面の文字数、色彩、文章の配置などより親しみやすく、読みやすいものであるよう工夫を凝らしたつもりです。多くの皆様にご愛読いただけたら幸いです。

この度の第37号体育協会報発行にあたり、お忙しい中、原稿をお寄せくださった関係者の方々誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

この体育協会報により、活動の一端を知っていただき、豊島区体育協会が充実発展できるようご支援下さい

T・H